

阿南町の建設産業労連支部

社協発注工事を落札

参加機会拡大で

阿南町大下条の建設業に携わる個人事業主でつくる飯下建設産業労働組合連合会大下条支部が、同町社会福祉協議会発注の工事を初めて組合で入札して落札、六日、契約した。町社協が、町内の小規模業者でも入札に参加できるようにして



阿南町社協と工事の契約を交わす飯下建設産業労働組合連合会大下条支部の勝又茂光支部長(右奥)ら=同町

実現。県建設労連(松本市)によると、県内で組合単位で受注する例は数少ないという。

町社協は、町の入札参加資格を有した業者を対象に指名競争入札を行っている。今回、町内に約七百万円で建設する介護予防事業所の入札工事に

「町内小規模業者にも参加機会を」と、比較的規模な約二十業者に参加資格を与えたほかに、「複数業者がグループになり参加できる」と通知した。

これに対し「二人親方と呼ばれる職人ら二十五人で構成する同支部は

「仕事が減り、大手の下請け単価も下がり続けている」現状に「組合一丸となって仕事を確保して」と入札に参加し、落札した。同支部は、大工や左官、塗装など各職種で組合員が「一人でも

多くかかわれるように」仕事を分けて、十二月中旬に着工、来年二月上旬の完成を目指す。

この日の契約で、勝又茂光支部長(56)は「地元職人たちを使つてもらえるのはありがたい」と感謝。町社協の勝又修事務局長(56)は「小規模業者に正當に仕事が回り、互いに助け合つことが大切。今後も地元の職人たちを支援できる形を取りたい」とした。

平成19年12月2日(日)

南 信 州 新 聞

小規模事業所に機会を

阿南町 新たな一般競争入札制度

阿南町は21日から、町が発注する設計金額80万円に満たない小規模で簡易な建築工事と修繕などの一般競争入札制度を開始する。

県の入札に参加できない小規模な事業所を対象にした入札制度で、町内の事業所に受注の機会を与えて町内経済の活性化を図る狙い。

町が発注する設計金額80万円に満たない小規模で契約内容が軽易、履行の確保が容易な契約が基本となる建築工事と修繕などの制限付き一般競争

入札制度。ただし、緊急の場合は町が随意契約をすることもできる。

対象は、町内に本店がある建築工事請合業者と簡易な建築修繕などを行う町内在住の個人。入札参加資格の条件は、町内で1年以上営業をしており、町税などを完納していること、長野県入札参加資格者申請認定登録していないことなど。

21日より申請の受け付けが始まり、直接持参して申し込む。提出書類は、申請書のほか、全ての町税(使用料などの納税証明書、青色申告所または決算書などの写し、過去2年間の施行実績書が必要になる。

申請は、阿南町工務課 阿南町工務課 審査員会で審査され、参加資格を満たしていることが確認されると入札参加資格者として登録される。許可期間は平成21年3月31日まで、その後は2年ごとに申請する。

問い合わせは阿南町総務課行政情報係(電話0260-2141へ)。